

公民館アンケート結果報告

皆さんにご協力いただきましたアンケート結果をまとめて、分析してみました。

実施期間：R7.12.1～R8.2.15 回答数：80名

回答者年代	12～19歳	32.5%(26名)
	70～79歳	22.5%(18名)
	60～69歳	15%(12名)
	40～49歳	15%(12名)
	30～39歳	6.3%(5名)
	80歳以上	5%(4名)
	50～59歳	2.5%(2名)
	20～29歳	1.3%(1名)



アンケートの内容は
こちらの二次元コードから
(回答は×切ってます)

I. 四大事業の目的適合性分析

1. 球技大会

■ 評価結果

肯定的評価：74.1%
否定的評価：24.7% (20名)

- ・評価は概ね高いが、約4分の1が否定的
- ・「交流」「健康増進」という目的に対しては一定の効果を感じているが、参加層の固定化や負担感の可能性も考えられる。

■ 否定的意見の傾向（自由記述分析）

主な論点は以下の5分類：

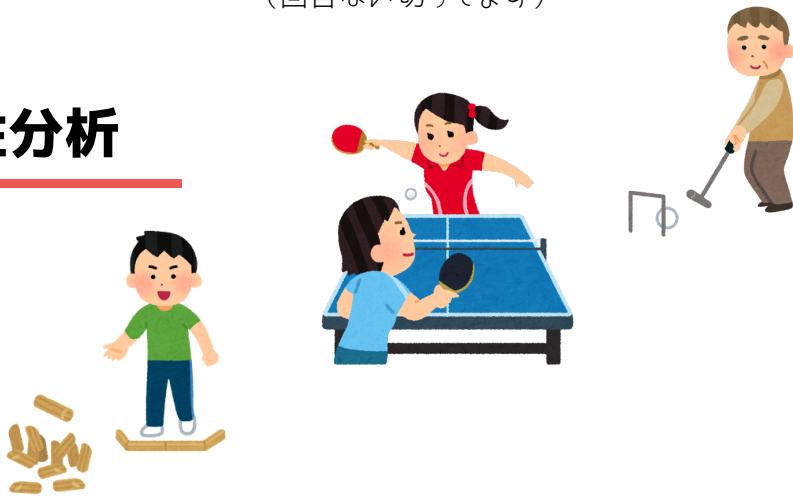
- ① 参加対象の偏り：「高齢者しか集まらない」「既に関係性のある人だけが参加」「大人中心で子育て世代が参加しづらい」
- ② 競技性の高さ・怪我リスク：「怪我のリスク」「本格的な球技は参加者が限られる」
- ③ 必要性への疑問：「そもそも必要性を感じない」「やらなくていい」
- ④ 名称・内容のミスマッチ：「スポーツ大会に変更しては」「ボッチャ・モルックなどがよい」
- ⑤ 周知不足：「詳細が分からない」

■ 年齢クロス分析（特徴）

否定的割合が比較的多い層：12～19歳→40～49歳→60～69歳 若年層と子育て世代に課題が見られる

■ 改善具体案

「球技」から「交流型スポーツフェス」へ名称変更、ボッチャ・モルック・軽スポーツ中心へ、自由参加・対抗色の緩和、観戦・応援参加も評価対象に



2. 館腰地区民コミュニティ大運動会

■ 評価結果

肯定的評価：74.0%

否定的評価：22.2%（18名）

- ・球技大会とほぼ同水準
- ・「幅広い年齢層との親睦」という目的に対しては一定の支持あり。
- ・約2割が否定的であり、規模・準備負担・競技中心の形式などの見直し余地が考えられる

■ 否定的意見の傾向

- ① 選手集めの負担：「連絡先を調べて交渉が苦痛」「役員の負担が非常に大きい」「毎年大変」
- ② 暗黙の強制参加：「参加が強制的（暗に）」「迷惑をかけないため参加しない」
- ③ 地区対抗形式の限界：「対抗戦をやめるべき」「小規模化すべき」
- ④ 時代との不整合：「シングル家庭への配慮がない」「親子競技が負担」
- ⑤ 種目の旧態依然性：「旧態依然」「努力不足」

■ 年齢的特徴

子育て世代（30～40代）、地区役員経験層からの強い負担感が読み取れる。

■ 改善具体案

地区対抗を廃止、事前エントリー制、小学校との共催再検討、ウォークラリー形式への転換、種目を年齢フリー型へ、半日開催・時短化、外部講師型レクリエーション

※最も見直し優先度が高い事業

3. 館腰公民館祭

■ 評価結果

肯定的評価：90.1%（最も高評価）

否定的評価：6.2%（5名）

- ・事業の中で最も評価が高い
- ・「成果発表」「文化活動」「交流」の目的と非常に合致していると認識されている。
- ・継続・強化すべき中核事業といえる。

■ 否定的意見

- ・目的がわかりにくい
- ・参加したいと思わない
- ・ただし、小学校連携への高評価意見あり。

■ 改善方向

学校連携を制度化、子ども主体企画を増やす、世代交流プログラム明確化
→ 強化すべき中核事業

名称変更も検討



4. 館腰地区新春祝賀会

■ 評価結果

肯定的評価：75.3%

否定的評価：20.9%（17名）

- ・概ね支持は高い
- ・約2割が否定的であり「参加者の偏り」「形式的行事化」などの可能性も検討材料



■ 否定的意見の傾向

- ① 高齢者中心の印象 ② 参加層の固定化 ③ 来賓挨拶が長い ④ 必要性への疑問 ⑤ 存在自体を知らない人もいる

■ 改善具体案

来賓挨拶の簡素化、世代交流型新年会へ転換、立食・交流型へ変更、子ども・若者発表時間導入

【4大事業に関する総合評価】

- ・4事業とも過半数以上の支持を得ている。
- ・特に公民館祭は圧倒的に目的適合性が高い。
- ・一方でスポーツ系2事業は「約2～3割の見直し意見」がある。

→目的の再整理、参加しやすさの改善、負担軽減、といった「質の見直し」が必要

II .持続可能な地域への意識

■ 定住意向：76.5%が「住み続けたい」→ 地域愛着は強い。地域への基本的な愛着は強い。

■ 子ども定住意向

61.7%が「定住してほしい」

32.1%が「わからない」

→ 次世代への継承にやや不安。自分は住みたいが、子供世代については迷いがある。
将来不安（利便性、仕事、子育て環境など）が影響している可能性

■ 示唆

・現世代は愛着あり ・若年世代の負担増は持続性を下げる可能性

→ 「負担軽減」が持続可能性の鍵

行事の“参加しやすさ”と“次世代視点”が鍵

III .地域活動参加意識

■ 関心状況

積極参加：38.3% 関心はあるが未参加：30.9% 関心なし：30.9%

重要ポイント

「関心はあるが未参加」層が今後の期待層



講座受講生募集 「雷神大学」

- 第1回： 5月18日(月) 【開講式】フレイル予防体操
- 第2回： 6月29日(月) 笑って楽しく幸せに
- 第3回： 日程調整中 健康講座（調整中）
- 第4回： 9月28日(月) 誤飲性肺炎予防ボイストレーニング
- 第5回： 10月26日(月) 懐かしい名取の昔話を楽しもう
- 第6回： 11月16日(月) クリスマスカードを作ろう 【閉講式】

※いずれも時間は午後2時から3時30分

対象者：65歳以上で、名取市内在住・在勤 募集定員：40名

◆申込方法◆

公民館に直接来館か、お電話ください。(館腰公民館 (022)382-2006)

令和8年度公民館事業

- 館腰地区球技大会：令和8年5月31日（日）
- 館腰地区民コミュニティ大運動会：令和8年10月4日（日）雨天中止
- 館腰公民館祭：令和8年11月22日（日）
- 令和9年新春祝賀会：令和9年1月9日（土）
- 多世代交流事業：令和9年1月予定



3月5日(木)館腰公民館運営協力委員会において今年度の公民館事業が、上記のとおり決定いたしました。

次年度も皆様のご協力をよろしくお願いします！

ゆるてい・C A F E、はじまりました

このサークルは「自分たちが楽しみながら、地域の皆さんがホッとできる場所を作りたい」そんな想いから発足しました。初お披露目は、メンバーが淹れたコーヒーを提供し、ゆったりとした時間を過ごしました。メンバーも地域の方も、みんな同じテーブルを囲んで笑い合える、そんな「ゆるやかな」場所を、これから育てていこうと思います。色々な作戦会議をして、また開催する予定ですので、これからをお楽しみに。



館腰のイメージをみんなで出し合いブレンドしてもらったコーヒー豆「館腰ブレンド」←

生涯学習課からのお知らせ

愛好会・サークルの要件を定めました～4月から～

生涯学習課では、愛好会・サークルの皆様幅広く公民館をご活用いただけるよう、愛好会・サークルの要件を次のとおり全館統一しました。

- ①会員による自主的・民主的な運営を行っている。
- ②会員は広く市民を対象としている。
- ③会員数5名以上で半数以上が市内在住・通勤・通学している。
- ④学習成果を地域に還元する意思がある。
- ⑤公民館による「愛好会・サークル調査」へ協力している。

要件を満たさない項目がある愛好会・サークルの皆様には、ステップアップできるよう支援してまいりますので、ご不明な点等がございましたらお気軽に各公民館または生涯学習課(724-7174)までご相談ください

館腰公民館の情報を発信してます

ホームページ



館腰公民館の基本情報が知りたい時に…

Facebook



日頃のおれこれを常に更新しています覗いてみてね♪

公式LINE



講座募集などをお知らせします。登録してみて

公民館職員がやさしく教えます
お気軽に声をかけてください



発信してると言われてもねえ
どうすればいいのかわかんないんだよね